

# 平成30年度事業報告書

特定非営利活動法人 WE21 ジャパンこうほく

## 1 事業の成果

2018年度は イラク・カンボジア・フィリピンの民際協力事業地からの日本訪問が続き、フィリピン事業地に複数人で訪問するなど、報告・交流する機会を多くもつことができました。パートナー団体の代表やスタッフそして受益者代表から直接、事業への取り組みや苦労話をきき、民際協力の理解を深め、世界の人々とともに考える機会をもつことができました。

国内支援についても貧困なくそうキャンペーンの取り組みに向けて 事前学習して自立援助ホーム「みずきの家」を訪問し、施設長からお話を伺うなど、丁寧に組み立てて実施しました。

WE ショップ事業は 概ね計画どおり事業達成でき、チャリティ（社会貢献型）のリユース・リサイクルのお店であることもさらに浸透してきました。また、地域の拠点（ショップ）を活かしてできることを広げる試み「WE カフェ」をはじめました。

また、昨年度は 神奈川県指定 NPO 法人取得から5年目を迎え、再申請し、更新されました。

## 2 事業内容（特定非営利活動に係る事業）

### I. 資源のリユース・リサイクルを推進する事業

#### 1) ショップ事業

##### (1) 大倉山店

- ・内 容 リユース・チャリティショップ運営
- ・日 時 通年 営業日数 279日
- ・場 所 横浜市港北区大豆戸町60-1
- ・従事者人員 ショップマネージャー3人、ボランティアスタッフと運営委員 28人（延べ747人）
- ・受益対象者 市民 主に港北区南部・鶴見区
- ・寄付件数 2,696 件
- ・事業高 8,616,511 円
- ・支出額 7,489,672 円

##### (2) 日吉店

- ・内 容 リユース・チャリティショップ運営
- ・日 時 通年 営業日数 282日
- ・場 所 横浜市港北区大豆戸町2-1 2-7
- ・従事者人員 ショップマネージャー3人、ボランティアスタッフと運営委員 38人（延べ1,085人）
- ・受益対象者 市民 主に港北区北部・川崎市
- ・寄付件数 2,128 件
- ・事業高 7,731,567 円
- ・支出額 6,437,979 円

2) 環境活動 両店で衣類やガラス陶器のリサイクルなど行いました。

	大倉山店(前年比)	日吉店(前年比)	備考
ファイバー (衣類リサイクル)	446 袋 (101.6%)	203 袋 (82.5%)	
ガラス・陶器の リサイクル	ガラス 11 箱・陶器 12 箱 (96%)	ガラス 4 箱・陶器 20 箱 (120%)	毎月1回の回収で、 再利用されました。
可燃物・不燃物の 廃棄費用	98,280 円 (92.9%)	84,274 円 (99.5%)	

3) リメイク活動

3つのリメイクチームと連携して、販売できなかつた寄付品等を利用したリメイク活動を行いました。  
リメイク品の販売、活動を広げるための教室開催などに協力しました。

## II. アジア等における市民、とりわけ女性の生活の向上と自立のための活動を支援する事業（民際協力事業）

収益からの支援額については 運営委員会で支援検討会を開催し、決定しました。

総支出額 2,154,643 円

1) 海外支援 合計 1,471,872 円

(1) タナオココミュニケーションにおける生計向上支援によるエンパワーメント事業

- ・実施団体 カンボジア NGO CAE (The Center for Actions towards Equality)

- ・プロジェクトの対象となる地域及び人々

カンボジアスバイリエン州コンボンロー郡タナオココミュニケーション 429 世帯

- ・支援額 2017 年度の収益金による 2018 年度事業への支援額 300,000 円

2018 年度の収益金による 2019 年度事業への支援額 350,000 円

- ・プロジェクトの概要

農業組合の支援、農業技術指導、若い農家の人材育成支援、最貧困世帯の子どもたちの支援、ネットワーキング活動などを行なっています。全体的に事業は順調に成果をあげています。CAE 代表のブントゥーンが留学のため来日中で、2月に報告会を開催しました。

(2) コーヒーの森づくり・アグロフォレストリー栽培による災害に強いコミュニティづくり

- ・実施団体 フィリピン NGO コーディリエラ・グリーン・ネットワーク(CGN)

- ・プロジェクトの対象となる地域及び人々

フィリピンコーディリエラ地方ベンゲット州トゥブライ郡アンバサダー村コロス集落、  
および、タビヨ集落 (45 世帯)

- ・支援額 2017 年度の収益金による 2018 年度事業への支援額 250,000 円

2018 年度の収益金による 2019 年度事業への支援額 350,000 円

- ・プロジェクトの概要

台風被害が残り、森林が失われている地域に現金収入となる作物を混栽し、環境に配慮した森づくりを行うことで、持続可能な森林再生・災害防止・生活向上を図るための支援を行っています。コーヒーの収穫量増大を確実にするため地域に合った苗木の育成を目指して実験苗場を作り観察し、また現在流布している苗木の品種の確認も国際機関に依頼しています。コミュニティメンバーが共同使用できる乾燥施設を建設して品質の向上を目指しています。そしてコーヒーの木のレジユミネーション（若返り）に必要なツールを購入して住民組織 MOAPA が管理をして貸し出しシステムを進めています。

(3) 有機農業の発展を通じたゆたかで幸福なコミュニティの構築

- ・実施団体 緑の芽有機農園学校
- ・プロジェクトの対象となる地域及び人々  
カンボジアタケオ州、カンポット州、コンポンスプー州、コンポンチュナン州の有機農家（コメ、野菜、ピーナツ、ゴマ）、モンドルキリ州の少数民族有機農家（コーヒー）、およびトボンクムン州の有機農家（コショウ）、計 300 農家
- ・支援額 2017 年度の収益金による 2018 年度事業への支援額 150,000 円  
2018 年度の収益金による 2019 年度事業への支援額 300,000 円
- ・プロジェクトの概要  
小規模農家と消費者の生活を向上させる目的で、開拓的有機農家と協力して実施するプロジェクト。有機の米・野菜・ピーナツ・胡麻・コーヒー・胡椒を栽培する 300 人の有機農家支援を計画し、有機農産物基準にそって作物を生産し、それらの市場参入が容易になるよう支援しています。

(4) チョコ募金キャンペーンを通じたイラク・シリア・福島支援

- ・実施団体 NPO 法人 JIM-NET（日本イラク医療支援ネットワーク）
- ・プロジェクトの対象となる地域及び人々  
イラクにおける小児がんの子どもたち、シリア難民・イラク国内避難民、福島の子どもたち
- ・支援額 471,872 円（チョコ募金 430,800 円、店頭募金 41,072 円）
- ・プロジェクトの概要  
イラクの小児がんの子どもたちへの医療支援、イラクに逃れてきたシリア難民、子ども、イラク難民キャンプでの支援活動、福島の子どもたちを放射能から守る活動を行っています。
- ・プロジェクトの内容を広く知らせるため、今年度も「イラク支援報告会」を開催しました。

2) 国内支援 合計 682,771 円

(1) 横浜山北リフレッシュプログラム

- ・実施団体 福島子ども・こらっせ神奈川
- ・プロジェクトの対象となる地域及び人々 檜葉町やいわき市周辺に住んでいる子どもたち
- ・支援額 88,552 円（収益より 75,590 円、店頭募金 12,962 円）
- ・プロジェクトの概要  
福島に暮らす子どもたちが放射能を気にすることなく野外で存分に活動できる機会を提供しています。2018 年 8 月 6 日～8 日、檜葉町やいわき市周辺の小学生 26 名を招き、神奈川県山北と横浜で保養や交流が行われました。

(2) 生活困窮者自立支援

- ・実施団体 寿支援者交流会 1、越冬闘争委員会 2、寿炊き出しの会
- ・プロジェクトの対象となる地域及び人々 寿町地域並びに近隣居住者・横浜市内の野宿生活者
- ・支援額 1、寿町越冬闘争委員会へ 20,000 円 2、寿炊き出しの会へ 60,000 円
- ・プロジェクトの概要  
横浜市中区寿町地域並びに近隣居住者、野宿生活者等を対象に「寿地区センター」「炊き出しの会」等地域の支援団体が連携し合って炊き出し・バザー開催、訪問活動、医療・法律・生活・労働の相談活動を行っています。行政の窓口の閉まる年末年始には特に総力を挙げて支援を行っています。こうほくからは支援金のほか、年間を通してバザーへの参加と衣類の寄付を行い、その他学童保育行事、越冬支援等の諸行事に参加しました。

(3) 放射能測定室併設検診センター開設支援

- ・実施団体 認定 NPO 法人 いわき放射能市民測定室 たらちね
- ・プロジェクトの対象となる地域及び人々 いわき市及び原発事故被災地住民
- ・支援金 287,047 円（収益より 150,000 円、店頭募金 99,767+カルチャー日吉バザー37,280 円）

- ・プロジェクトの概要

福島第一原子力発電所の事故による被ばくの被害から子どもたちと地域の人々の健康と暮らしを守るため、見えない・におわない・感じない放射能による環境汚染と長期的に向き合い、これから先の遠い未来を見据えた活動（放射能の測定・クリニック運営・甲状腺の検診・たらちね子どもドック・保養活動）を行っています。

(4) 子どもの生活支援

- ・実施団体 特定非営利活動法人子どもセンターてんぼ

- ・プロジェクトの対象となる地域及び人々 家庭内に居場所を持ってない神奈川県の子どもたち

- ・支援金 202,257 円 (収益より 192,220 円 店頭募金 10,037 円)

- ・プロジェクトの概要

虐待などの理由によって家族と共に暮らすことのできない 18 歳～20 歳の子どもたちを対象に、居場所を提供しての生活支援（シェルター運営）や、法的支援、自立支援（自立援助ホームみずきの家の運営）、電話相談を行っています。子どもは 18 歳を過ぎると、児童福祉法では守られず、児童養護施設に入所できません。「子どもの貧困」が注目される中、貧困に陥ることのないよう、子ども自身の自立を支援する活動です。

(5) 3. 10 東日本大震災かながわ追悼の夕べ 支援

- ・実施団体 3. 10 東日本大震災かながわ追悼の夕べ実行委員会

- ・支援金 10,000 円

- ・プロジェクトの概要

神奈川に避難してきた人々と、東北につながろうとする神奈川の人々とともに開く追悼の場の開催への支援金を出し、参加しました。

(6) 西日本豪雨災害緊急支援

- ・実施団体 港北区災害ボランティア連絡会

- ・支援金 14,915 円 (店頭募金)

- ・急ぎの要請により電磁的方法で取り組みの承認を得て実施しました。

泥をかき出し家を片付けるため大量の雑巾が必要で、「浴用タオル・雑巾・募金」の寄付を一週間店頭で募りました。集まったものは、発生直後からスタッフを派遣し支援活動を既に行っている名古屋のボランティア団体・レスキューストックヤードを通じ、岡山県倉敷市の被災地に送付しました。

3) フェアトレード品の販売による支援

ジンジャーティ、コーヒー、オリーブ石鹸の 3 品目を取り扱い、生産者グループの生計向上に寄与しました。

年間仕入額 計 281,082 円

- ・ジンジャーティ 生産者：フィリピン・ベンゲット州住民組織ウバパス・ダイヨコン・ランパダ  
仕入額 91,200 円 (昨年比 114%)

販促試飲を数度おこない、現地視察情報を伝え、利用者を増やしました。

仕入本数は一昨年度 114 本→今年度 132 本に増加しました。

- ・アシーラ石鹸 生産者：パレスチナ・アシーラ女性組合  
仕入額 28,482 円

「アシーラ石鹸」、「死海の塩入り」の 2 種類を扱いました。

- ・シサムコーヒー 生産者：フィリピン・CGN (コーデリエラ・グリーン・ネットワーク)  
仕入額 161,400 円

シサム工房を通じて CGN のコーヒー販売を 1 年ぶりに再開できるようになりました。現地視察情報を伝えつつ複数回販促試飲を行いました。中煎り深煎りの 2 種類となりカピタコーヒーの時よりも取扱量が増えました。

#### 4) キャンペーン

##### (1) 貧困なくそうキャンペーン

期間：10月1日～10月20日

10月1日～17日の両店の募金、10月17日の貧困撲滅のための国際デーの両店の売り上げ、10月20日のふるさと港北ふれあいまつりの売り上げを含め、特定非営利活動法人子どもセンターてんぼに寄付しました。(先述、国内支援(4))

##### (2) 「3.11を忘れない」キャンペーン

年間4回(5、7、9、3月)の11日前後に実施

特に7月は「福島子どもこらっせ神奈川」の保養プログラムへの支援を呼びかけ、11日の売上げと店頭募金(7/1～31)の合計をこらっせ神奈川に寄付しました。(先述、国内支援(1))

また3月は「認定NPO法人いわき放射能市民測定室たらちね」への支援をアピールし、両店で11日の売上を「たらちね」に支援できました。(先述、国内支援(3)、収益からの支出部分)

##### (3) チョコ募金キャンペーン

期間：12月10日(月)～2月9日(土)

2019年1月15日(火)日吉店にてJIM-NET活動報告会「イラクの今、これから」を開催し、JIM-NETスタッフ斉藤亮平さんにチョコ募金で実現する支援の話を伺いました。カード含め786個分の募金と期間中の店頭募金の合計をJIM-NETに寄付できました。(先述、海外支援(4))

#### 5) 支援事業地訪問

(1) 8月23日 子どもセンターてんぼ自立援助ホームみずきの家訪問 参加11名

(2) 1月16日～20日 フィリピン・コーヒの森づくり事業モニタリングツアー 参加2名  
コーヒの森づくり事業地・マオパおよびジンジャーティのダイヨコン農業組合訪問

#### 6) 学習会・報告会の開催

日時・場所	内容	講師・報告者	参加人数
5月29日(火) 14時45分～16時15分 港北区社協3F多目的研修室	・寿町を知るワークショップ参加報告 ・コーヒの森づくり事業地視察報告	運営委員谷本コズエ 運営委員門永さつき	26名
6月28日(水)13時半～15時半 かながわ県民センターコラボスタジオ(主催:横浜北エリア6地域)	「シリア難民～リーム・アッバスさんを囲んで～交流のつどい」	JIM-NET 現地アルビルスタッフ、リーム・アッバスさん	4名
8月1日(水)10時半～12時 日吉店	貧困なくそうキャンペーン 子どもセンターてんぼ事前学習会	「みずきの家」訪問に向けて資料読合わせ	7名
8月2日(木)10時～11時半大倉山店			7名
9月1日(土)14時～16時 緑公会堂ホール (横浜北エリア6地域共催)	おしどりマコ&ケン トークライブ「震災から7年、原発どうなってるの」	おしどりマコ&ケンさん	49名
9月2日(日)14時半～ かながわ県民センター711	CAE活動報告会	NGO/CAE 代表ブントゥーンさん 副代表上田美紀さん	5名
9月28日(金)16時～19時50分 港北区社協団体交流室Ⅱ	JICA 事業 CGN スタッフ2名ベンゲットコーヒ生産者3名を迎えて 交流会とこうほく2店舗見学		13名
11月30日(木)13時半～15時半 港北区社協団体交流室1	ゆたかで幸福なコミュニティーS3の構築: ミニ・プロジェクト報告会	緑の芽農園学校代表 ヤンセン・コマさん	13名
1月15日(火)13時半～16時 日吉店	活動報告会「イラクの今、これから」	NPO 法人 JIM-NET スタッフ斉藤亮平さん	29名
2月8日(金)10時半～12時 港北区社協 団体交流室Ⅰ	CAE報告会	カンボジア NGO/CAE 代表ブントゥーンさん	19名
2月21日(木)10時～11時 日吉店	フィリピンモニタリングツアー報告会	運営委員砂田正子 運営委員松尾百合子	18名
2月22日(金)10時～11時半大倉山店			13名

### III. この法人の事業の広報普及を図る事業

#### 1) 会報・ニュースなど紙ベースの広報

会報を6月と12月に発行、ボランティア向けスタッフニュースを、7月、10月、12月にまとめて会員向けに発送しました。また紙ベース、インターネットで使用する用語の統一をはかりました。

#### 2) ホームページの運営

ショップ情報やイベントの告知・報告を遅滞なく、なるべく写真とともに掲載し、発信力を高めました。また、会報、フェイスブック、ブログとの連携をはかりました。

#### 3) フェイスブック・ブログの運営

フェイスブックでの情報発信を継続し、2018年11月15日からはチャリティショップを身近に感じてもらうことを目指しショップブログをはじめました。若い年齢層やチャリティやフェアトレードに興味をもつ購買層に向けての広報活動に力を入れました。

### IV. 組織活動

#### 1) 組織運営

(1) 会員 期首53名 期末51名(入会 3名、退会 5名) 目標60人

(2) 参加型で継続可能な組織運営をすすめるために、参加者拡大の方法について運営委員会で模索を続けました。日吉店でのWEカフェは7月に日吉カフェ作戦チームを6名で立ち上げ、10・11・12月の4回開催しました。

ボランティアミーティング 大倉山店 9月13日(木) 12名・3月26日(火) 12名

日吉店 7月24日(木) 16名・2月21日(木) 18名

スタッフニュースの発行 大倉山店「コイノニア」3回(うち号外2回) 日吉店 「わ+」6回

#### (3) 事務局体制

事務局長1名(マネージャー兼任)。事務局会議を3回(6月9月1月)開催しました。

#### 2) 地域との交流

地域の団体と連携・協力し、地域との交流を深め活動をアピールしました。

- ・「大倉山みんなの食堂」の食材寄付の窓口となり、広報・協力しました。 食材の寄付件数：5件
- ・らくらく市(らくらく市実行委員会主催) 5月20日(日) 菊名地区センター前庭
- ・カルチャー日吉文化祭(11月17・18日)で販売サポートをし、バザー売上を全額寄付いただきました。
- ・こうほくふれあいまつり 10月20日(土) 新横浜公園
- ・小さなまちの小さな平和展(同実行委員会主催)3月4日(月)～8日(金)ギャラリーかれん
- ・チョコ募金を地域団体にもよびかけ、今年度は7団体の協力を得ることができました。
- ・錦が丘町会主催の桜まつりに出店しました。(2年目)3月31日(日)
- ・大倉山店で中学生2名のボランティア体験を受け入れました。

#### 3) その他

- ・認定NPO法人として、より高い公益性を追求し、情報公開・適正な運営に努めました。神奈川県指定NPO法人の更新申請し、継続されました。
- ・WE21 ジャパングループのメンバーとして連携しました。  
JIM-NETの現地スタッフ・ルームアップスさんの来日に際し、横浜北エリアで交流会を開催しました。横浜北エリア6地域NPO共催で9月1日 おしどりマコ&ケントークライブを実施しました。  
コーヒーの森づくり事業支援連絡会、ジンジャーティミーティングに参加して、支援やフェアトレード事業について情報共有をしました。
- ・ワーカーズコレクティブ協会紹介の「就労準備実習生」を2018年10月に1名、2019年2月から1名計2名、日吉店で受け入れました。